

## 希望校合格を目指して

- 不合格の原因を自分の力で少なくしよう -

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：入学試験の不合格の原因は何ですか。

A：(林明夫：以下省略)

いろいろあります。最も大きな原因は、希望校に合格するだけの十分な成績(偏差値)が取れていないということです。入学試験のあるすべての学校には、合格するのに最低限必要な成績(偏差値)があるのは現実の話です。入学試験の当日まで勉強を積み重ねて、合格するのに最低限度必要な成績(偏差値)を上回(うわまわ)る成績を、自らの手で確保しなければなりません。学力面では合格ラインを越えていても、内申書や試験当日の髪型・髪の色・服装・態度によって不合格になる場合もあります。内申書で欠席などが目立つ場合や、受験生として異様な立居振舞(たちいふるまい)をした場合は問題です。大げんかをした場合には、不合格になる可能性が高いと言えます。

Q：合格を確実にするにはどうしたらよいでしょう。

A：( 10)入塾したい学校を

,í,& Qñ0A ,€'W0;BxQñ0A ,€,©^ "c3,Qñ0A ,È,μ66482F0>10

(2)「自分の偏差値」と「合格に必要な偏差値」を現実のものとして受け入れて、受験の日までにどうしたら合格するのに十分な偏差値を自分の力で勝ち取るのかを、自分自身の問題として自分の頭で考えて下さいね。

(3)その方法、つまり偏差値の上げ方は、この「開倫塾ニュース」や「塾長通信」をはじめ、「夏期講習会開講式塾長あいさつ」に詳細に述べてあります。何回も読み直した上で、自分なりに工夫して実行してみてください。

家で勉強できない人は、夏休みから入試の前日まで、開倫塾の開いている日は夜 10 時半直前まで開倫塾でひたすら勉強して下さい。ただし、おしゃべりや飲食、eメール、ゲームなどは一切なしです。

(4)それでも勉強の仕方がわからなければ、開倫塾の先生に勉強の仕方を教えてもらって下さい。

(5)ただ大切なことは、「勉強の方法」を知ったらひたすら机に向かい、1 時間でも多く勉強に集中することです。合格するかしないかは、頭がよいとかよくないとかでは決まりません。勉強をしたかしないかで決まります。

Q：最後に一言どうぞ。

A：受験直前まで勉強してどうしても偏差値が十分確保できそうにないときは、「合格は無理だから受験校を変更するように」とのアドバイスを開倫塾ではさせていただきます。「記念受験」には断固反対します。

ただし、推薦入学で早めに合格が決まっても、他の受験生と一緒に入試の前日まで開倫塾で勉強し、他の受験生に負けない実力を付けて上級学校に進学するよう指導します。みんなが最後の追い込みをかけ実力を身に付ける大事な時期に、推薦で合格したからといって遊び呆(ほう)けていては、上の学校に入学したときに 10 以上の偏差値の差がついてしまい、取りかえしがつかないことになるからです。

開倫塾では、授業中のおしゃべり(私語)は授業妨害行為として一切禁止です。飲食やゲームも一切禁止です。「ガム」をかむことも禁止です。勉強をするのが学習塾です。「学校」以上に厳しい規則かもしれませんが、十分お守り下さい。おしゃべり(私語)等の規則に違反した人は退塾処分となりますので、ご承知おき下さい。これも大事な受験勉強です。

- 7月23日記 -